

入野小学校 校長室だより

2014.12.18(木) No.31 文責：芝

すごく珍しい自然の贈り物

雪とけて 村いっばいの 子どもかな

小林一茶

入野小学校の場合は「とけていないから」
なのですが、この俳句が浮かびました。

入野の今朝の冷え込みは厳しかったようで、
出勤したときに『昨日の雪が解けて水浸しだ』
と見えていた校庭、実はカチンカチンに凍っ
ていたのです。校庭の表面を覆った氷は子ど
もたちが走っても跳んでも全く割れる様子は
無く、まさにスケートリンク状態でした。



子どもたちも校庭を走るだけでなく、勢い
をつけて滑ってみたり、中にはフィギュアス
ケートのようなスピンを試みる人も…。どこ
から取ってきたのか、厚さ1cmもある氷の
板を持っている人もいました。雪を集めて雪
玉を作ろうとしていた子どももいましたが、
ボロボロと崩れて玉になりません。それだけ
気温が低かったということでしょうか。

今朝は体育館での集会を予定してしまっ
たが、『なかよし朝会』にもどし、こんな「す
ごく珍しい」自然の贈り物を自由に味わう時
間にしました。



さすがにお日様が高くなると、ちょっと解
け始めた感じになってきましたが、それでも
まだまだ氷は丈夫。朝の会が始まる時刻ま
では十分に楽しめました。

寒さの中、解けてないからこそ「校庭い
っばいの子ども」たちでした。

下の写真は12日(金)に行った火災避難訓
練の中の消火器使用の様子。避難は全員避難
完了を確認するまで3分少々。迅速にできま
すので、保護者の皆さんご安心ください。(火
事を起こさないのが一番ですが…)



前号の「教室の中にある〴〵」をちゃんと
書いた方が良かったのでは？という私の迷
いがありますので、ここに書くことにしま
す。教室の中にある〴〵は「4月」です。「よ
」でも「よん」でもありません。皆さん、4
月以外の〴〵をご存じありませんか？